御岳百景

第12号 命の揺りかご 認定

初夏の御岳山内を気持ちよく歩いていると、ふと目につく足元の小さな葉の巻物…。
ピタッとしっかり葉が巻かれていて、ちょっと触っただけでは葉は開かない。
いったい誰がこんな小さな葉を、なんのために巻物にしたのか…？

葉を巻いている主は「オトシブミ」という虫たちである。
オトシブミは漢字で書くと「落とし文」。
メールも電話もない時代、内緒の手紙を道ばたに落として相手に伝えたという落とし文と、
上から降ってきた葉の巻物が道にコロンと落ちている様子を重ねてつけた和名だそう。
葉の巻物を文に見立てるなんて、なんと風流な名前だろうか。
この巻物は揺籃といい、中にはオトシブミたちの卵が入っている。言わば「揺りかご」。
卵から孵った幼虫は、揺籃を内側から食べて大きくなる。

御岳山の表参道では道一面に揺籃が落ちていることもあり、踏まないように歩くのが
至難の業となることも…。地面がアスファルトであるため、落ちている緑色の揺籃はとてもよく見立つ。
このオトシブミたちの命の揺りかごが見られる初夏の光景を御岳百景としたい。

（解説員　ふかさわ）

御岳山でちょい

かんたん山ごはん「おにぎりゾット」

コンビニのおにぎりが
チーズリゾットに早変わり！
シングルバーナーでかんたんクッキング！

材料

- コンビニのおにぎり　1個
  ※具材は、鮭・昆布・梅がオススメ
  ※おにぎりは、海苔が別になっているものを使う
- シュレッドチーズ　適量
- 水　100cc
- 顆粒だし　適量

作り方

1. おにぎりの「海苔」と「ごはん」をわける
2. シェラカップに「ごはん」「水」「顆粒だし」を入れ、中火にかける
3. 「おにぎり」をスプーンでほぐす
4. 沸騰してごはんがお好みの柔らかさになったら「チーズ」を入れ
   溶けるまで煮る
5. 最後に「海苔」をちらしたら完成！

（解説員　はやし）

御岳ビジターセンター公式キャラクター
ムサくん

2019年初めてモリアオガエルが御岳山の集落で鳴いたのは、まだ梅雨入り前の5月21日だったよ。梅雨に入って卵が産まれるのが楽しみ！

御岳ビジターセンター
〒198-0175　東京都青梅市御岳山38-5
開館（9:00～16:30）　休館（月曜日　※祝日の場合は翌日）
TEL 0428-78-9363　FAX　0428-78-9445
HP　https://www.ces-net.jp/mitakevc/
指定管理者：株式会社 自然教育研究センター（CES）

2019年6月　第12号

2019年 夏号 No.12

御岳ビジターセンターが贈らす・・・・

木もれび

初夏の香り漂うこの時期
御岳山では
「コロロロ、コロロロ…」と
心地よい鳴き声が響き渡る
鳴き声の主は モリアオガエル

モリアオガエルの
「恋の季節」はこれから本番！
そんな「恋の音色」に
耳を傾けてみるのも乙なもの

恋

森のあわあわのナゾを追え！

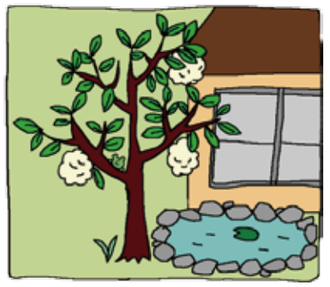
梅雨に入ると「コロロロ…」という声とともに
木の上に握りこぶし大のナゾの泡の固まりが出現する
ある人は「カマキリの卵だ！」と言い
またある人は「メレンゲではないか？」と言う
いったい誰が？何のために？
泡のナゾを追ってみよう！

御岳ビジターセンター
ムサ君

こんなところに?!「森のあわあわ」発見！

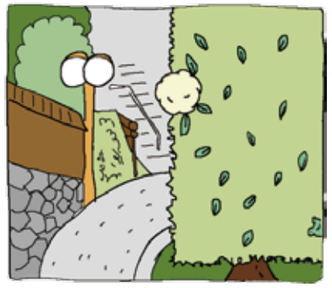
御岳山の宿坊の方に
聞いてみたよ！

山楽荘に聞いてみた



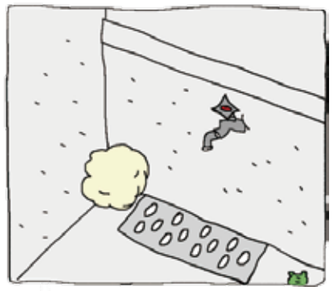
私が子どもの頃だった70年以上も前から梅雨時期になると「あわあわ」が現れるの。宿の庭にある池の木に、多い年は30個以上の「あわあわ」が現れたこともあるわ。雨どいにできる事もあったわね。

静山荘に聞いてみた



表参道沿いの生垣の傍から「コロロロ…」と声が聞こえて、いつの間にか生垣に「あわあわ」が現れるんだ。ちなみに「あわあわ」の下は排水溝。昔は、防火用水があって、そこに産むことができたけど今はもうないんだよ。

原島荘に聞いてみた



この年は、庭に「あわあわ」が現れなくて。「コロロロ･･･」という声がしばらくうるさいと思っていたら、ビックリ！お風呂場の床に「あわあわ」があったの。
きっと、換気扇から忍び込んで作ったのね。

あわあわの正体は…?!

森に暮らすカエル**「モリアオガエルの卵」**なんだ。
普段はあまり目にすることができないカエルだけど、
梅雨の時期は産卵のため、御岳山の集落の中の水場に集まるよ。

モリアオガエル

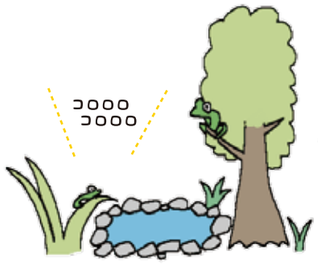
<モリアオガエルの特徴>

大きさ：約メス8cm、約オス6cm
食べ物：昆虫類やクモ類
得意技：木登り
鳴く時期：5月中旬～7月下旬
鳴き声：コロロロ…コロロロ…

鳴き声はギロという楽器
の音によく似ているよ♪

Webで鳴き声をチェック！

卵が産まれる東馬場の裏の井戸では…

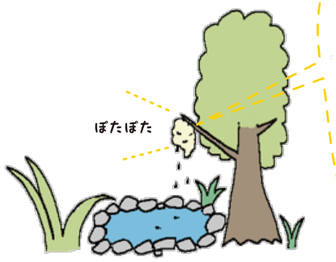


産卵場所の井戸に集まると、
オスはメスにラブコール♥
コロロロ…コロロロ…と
積極的に鳴いてアピールタイム！

意中のメスに抱き着いたオスは
もう彼女を離さない。抱き着かれたメスは、井戸の横にあるカエデの木に登り、枝先まで歩いていく…

産卵するメスにたくさんのオスが集まることが多いので、このような状態になっていることも！

泡の表面は乾いていても、
中は水分が保たれていて、
この泡の中に数百個の卵
が入っている！



産卵から2週間ほどで
オタマジャクシに！
雨が降ると、卵が崩れて
オタマジャクシがぽたぽたと
下に落ちるよ

卵のその後

オタマジャクシは雑食性。石についた藻をけずりとって食べたり、生きものの死がいも食べるよ。1ヶ月半くらいでカエルになると言われているけど、御岳山の井戸は水温が低くカエルになるのが遅いみたい。秋にも、まだオタマジャクシのままの子がいて、そのまま冬を越すこともあるそうな。

数百の卵のうち、数匹しか大人のカエルにはなれないんだ。オタマジャクシの時にヤゴに食べられたり、カエルになってもタヌキやヘビ、フクロウにも食べられる。
生き抜くことは大変なことなんだ。

山の上にある井戸

茅葺き屋根の東馬場の裏には、湧き水が溜まる井戸がある。井戸の水の上にも卵がたくさん。なぜだと思う？

実は・・・水のない場所に産んでしまった卵を、山の人が井戸に運んでくれているんだ。さらに、モリアオガエルが産卵しやすいように、その昔山の人が井戸の横にカエデの木を植えてくれたそう。

山の人はみなカエルたちを温かく見守ってくれているんだね。

ビジターセンターから徒歩2分！井戸に行ってみよう

東馬場の裏の井戸

御岳山は森に囲まれた集落だから、人の暮らしに近いところにモリアオガエルがいて、カエルは井戸や池の環境をうまく利用しているんだね。
東京都では準絶滅危惧種にも指定されているカエルなんだ。
これからもずっと御岳山で見られるといいね。